

月	単元名 教材名	時数	指導目標	主な学習活動	教科書 ページ	評価規準 (おおむね満足できる状況)
4	・書写パーク	適宜	◆五年生、六年生の学習内容を確かめることができる。	・『書写パーク』を見て、五年生までの学習内容と六年生での学習内容を確かめる。	1～2	【関】興味をもってこれから学習することのぞもうとしている。 【知】これまでの学習内容を理解している。
	・用具の名前と置き方／用具の片づけ方 ・正しい姿勢／筆の持ち方／えん筆の持ち方 ・学習の進め方		◆毛筆用具の名前や片づけ方、正しい姿勢や筆記具の持ち方などを確かめることができる。 ◆書写の学習の進め方を確かめることができる。	・毛筆用具の名前と置き方や片づけ方、また正しい姿勢と筆記具の持ち方を確かめ、年間を通して気をつけるようにする。 ・書写の学習の進め方を知る。	3～5	【関】毛筆用具や扱い方などを確認しようとしている。 【知】毛筆用具の名前や用具の準備のしかた、置き方、片づけ方を知っている。
	1 穂先の動きと点画のつながりを確かめよう	毛筆 3	◆穂先の動きと点画のつながりを理解して書くことができる。	・「や」と「つ」の一画目の終筆の方向を比べて違いを知る。 ・毛筆で「うぐいす」を書き、穂先の動きと点画のつながりを確かめる。 ・点画のつながりを意識して「うぐいすの季節」を小筆で書く。 ・毛筆の学習を生かし、硬筆で「うぐいすの季節、つばめ、すずらん」を書く。	6～9	【関】「や」と「つ」の一画目の終筆の方向の違いを、意欲的に知ろうとしている。 【知】穂先の動きや点画のつながりを意識して書くことを理解している。 【技】穂先の動きや点画のつながりに気をつけて、「うぐいす」などを書いている。
5	2 筆順と点画のつながりを確かめよう	毛筆 3	◆筆順と画の長さや方向の関係を理解して書くことができる。	・「在、布」を見て、筆順による横画の長さの違いや左払いの長さや方向の違いを確かめる。 ・毛筆で「友情」を書き、筆順と点画のつながりを確かめる。 ・毛筆の学習を生かし、硬筆で「友情、収集、有名」を書く。	10～11	【関】筆順による画の長さや方向の違いを、意欲的に確かめようとしている。 【知】筆順によって画の長さや方向が変わることを理解している。 【技】筆順と点画のつながりに気をつけて、「友情」などを書いている。
6 7	3 速さに注意して読みやすく書こう ・書くときの速さ ・文字の大きさ	毛筆 2～4 ／ 硬筆 2～3	◆書く場面の状況によって速さが決まってくることを、理解することができる。 ◆楷書には別の書き方があることを知る。 ◆文字の大きさや配列な	・P12の各場面での書く速さについて話し合う。 ・P13の①～⑥を見て、速く書くために点画の形や方向が変わる楷書の書き方があることを理解する。 ・P14の工夫1～3を見て、どのような工夫をす	12～13  14～15	【関】場面による書く速さの違いについて、意欲的に話し合おうとしている。 【知】丁寧に時間をかけて書くべき場面と、急いで書く場面とがあることを理解している。 【知】楷書には、点画の形や方向が変わる書き方があることを理解している。 【関】読みやすくするための工夫について、意

	と配列		ど、読みやすく書くための工夫を理解することができる。	ると読みやすくなるかを考える。 ・用紙に対する文字の大きさや配列（行の中心、字間・行間、上下・左右の余白）に気をつけて、はがきの表書きをする。		欲的に考えようとしている。 【知】読みやすく書くための、いろいろな工夫を理解している。 【技】文字の大きさや配列に気をつけて、はがきの表を書いている。
	■自由研究をまとめよう		◇調査でのメモの取り方を知り、掲示物での文字の大きさ・配列や筆記具の使い方に気をつけて、研究内容を読みやすくまとめることができる。	・インタビューをしたり、本などで調べたりして、情報を集める。 ・読みやすくなるように、どこに何を書かかを考え、配列を決めて研究内容を書く。 ・友達の自由研究を見て、どんな点が読みやすく工夫されているか話し合う。	16～17	【関】意欲的に研究内容の情報を集めようとしている。 【技】どこに何を、どのように書かかを考え、配列を決めて研究内容を書いている。 【関】友達の自由研究を見て、読みやすく工夫されている点を見つけようとしている。 【関】これまで書写で学習したことを生かして、普段のノートなど他の学習場面に活用していこうとしている。
9 10	4 文字の組み立て方と穂先の動きを確かめよう ・によ	毛筆 5～7 ／ 硬筆 1	◆によと、によの上の部分の位置、穂先の動きを理解して書くことができる。	・「速、建、起、題」を見て、によのある文字の組み立て方の特徴について確かめる。 ・しによを書くときの穂先の動き、組み立て方の特徴を確かめる。 ・毛筆で「道」を書き、によとその上の部分の組み立てや穂先の動きを確かめる。 ・毛筆の学習を生かし、硬筆で「道路、宿題、建設」を書く。	18～19	【関】「速、建、起、題」を見て、によのある文字の組み立て方の特徴を意欲的に確かめようとしている。 【知】によのある文字の組み立て方では、によの右払いが上の部分より右に出るように書くことを理解している。 【知】しによの筆使いでの穂先の動きを理解している。 【技】によのある文字の組み立て方や穂先の動きに気をつけて、「道」などを書いている。
	・三つの部分		◆三つの部分で組み立てられた漢字の特徴と、穂先の動きを理解して書くことができる。	・「働、意」を見て、三つの部分で組み立てられた漢字の特徴を理解する。 ・右上払いの書き方を確かめる。 ・毛筆で「街」を書き、三つの部分の組み立て、右上払いの書き方を確かめる。 ・毛筆の学習を生かし、硬筆で「街角、班長、勇気」を書く。	20～21	【関】「働、意」を見て、三つの部分で組み立てられた漢字の特徴について意欲的に理解しようとしている。 【知】三つの部分で組み立てられた漢字では、横はばを狭くしたり高さを変えたりして文字を整えていることを理解している。 【知】右上払いの書き方を理解している。 【技】三つの部分で組み立てられた漢字の特徴や穂先の動きに気をつけて、「街」などを書いている。
	■わくわく☆漢字教室		◇によと三つの部分の組み立て方に気をつけ	・によや三つの部分の組み立て方の特徴を確かめる。(P18, 20も活用する)	22	【関】によや三つの部分で組み立てられている漢字の特徴について、意欲的に確かめよう

			て、字形を整えて正しい筆順で漢字を書くことができる。(国語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かめた特徴に気をつけて、P22の漢字を、字形を整えて書く。</li> </ul>		<p>としている。</p> <p>【知】 しようや三つの部分で組み立てられている漢字の特徴を理解している。</p> <p>【技】 確かめた特徴に気をつけて、P22の漢字を、字形を整えて書いている。</p> <p>【関】 しようや三つの部分の組み立て方の漢字を巻末の『六年生の漢字』から探し、国語の学習にも生かそうとしている。</p>
	■昔の文字、今の文字		◇甲骨文字やヒエログリフ、仮名などのいろいろな文字があることを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の国々で生まれたさまざまな文字の中には、今では使われなくなったり形を変えて現在に伝わったりしている文字があることを知る。</li> </ul>	23	<p>【関】 興味をもって昔の文字と今の文字を知ろうとしている。</p>
11	5 文字の大きさと配列に気をつけて書こう	毛筆 2～3 ／ 硬筆 1	◆文字の大きさと配列に気をつけて書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かたに来て…」を見て、何行かにわたって配列よく文字を書くために必要なことを確かめる。</li> <li>・「名月や…」を補助線を引くなどして小筆で書き、配列よく文字を書くために必要なことを確認する。</li> <li>・いろいろな用紙に合った配列を考えて、小筆で好きな俳句などを書く。</li> <li>・書いたものを発表し合い、友達の書いたものよさを話し合う。</li> </ul>	24～26	<p>【関】 「かたに来て…」を見て、配列よく文字を書くために必要なことを、意欲的に確かめようとしている。</p> <p>【知】 配列よく書くために必要なことを理解している。</p> <p>【技】 用紙に合った文字の大きさや配列に気をつけて、「名月や…」や好きな俳句などを小筆で書いている。</p> <p>【関】 友達の書いたものよさを意欲的に見つけ、話し合っている。</p>
	■手書き文字と活字		◇手書き文字と活字の字形を比較し、その違いを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三種類の「表」の違いについて、字形や読みやすさ、受ける印象などを話し合う。</li> <li>・手書き文字と活字の違いを知る。</li> </ul>	27	<p>【知】 手書き文字と活字の違いやそれぞれのよさを理解している。</p> <p>【関】 手書き文字と身の回りの活字の違いやよさを感じている。</p>
	■自分の思いを手紙で伝えよう		◇相手や目的に合った用紙・筆記具を選んで、手紙を書くことができる。(国語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二通の手紙を比べて、相手や目的に合わせてどのような手紙を書いたらよいかを知る。</li> <li>・相手や目的に合った用紙・筆記具を選んで手紙を書く。</li> <li>・手紙の書き方については、国語の学習に生かす。</li> </ul>	28～29	<p>【関】 相手や目的に合わせてどのような手紙を書いたらよいか、意欲的に知ろうとしている。</p> <p>【技】 手書き文字のよさを生かし、相手や目的に合った用紙・筆記具を選んで手紙を書いている。</p> <p>【関】 これまで書写で学習したことを活用して、日常生活の場面で手紙を書こうと意識している。</p>

12 ・ 1	6 文字の大きさや配列を工夫して書こう	毛筆 5～6	◆さまざまな用紙に合った配列を工夫して書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「創造」を見て、半紙に二文字を書くときに気をつけることを確かめる。</li> <li>・P31の例を参考にして、文字の大きさや配列に気をつけて、毛筆で「創造」や好きな言葉など、書きたい文字を書く。</li> <li>・書いたものをお互いに見せ合い、一人一人のよいところを見つけて、書き初めに生かすようにする。</li> </ul>	30～31	<p>【知】配列よく書くために必要なことを理解している。</p> <p>【技】用紙に合った配列を考えて、「創造」や自分の書きたい文字を書いている。</p> <p>【関】友達の書いたもののよさを意欲的に見つけ、話し合っている。</p>
			・書きぞめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き初めの意味を確かめる。</li> <li>・穂先の動きや点画のつながり、文字の大きさや配列などに気をつけて、毛筆で「創造する心」（巻末折り込み）を書き初め用紙に書く。</li> <li>・友達が書いた「創造する心」のよいところを発表し合う。</li> </ul>	41～44	<p>【関】意欲的に書き初めに取り組みようとしている。</p> <p>【知】書き初めの意味を理解している。</p> <p>【技】穂先の動きや点画のつながり、文字の大きさや配列に気をつけて書き初めを書いている。</p> <p>【関】友達が書いた「創造する心」のよいところを意欲的に見つけようとしている。</p>
2 ・ 3	7 自分が書いた文字を見つめよう	毛筆 4 ／ 硬筆 1	◆これまでに学習したことを確かめて書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「希望の春」を書くために、これまでに学習したことを確かめる。</li> <li>・毛筆で試し書きをし、これまでの学習と照らし合わせて、自分の課題をつかむ。</li> <li>・課題に気をつけて、毛筆で「希望の春」を書く。</li> </ul>	32～33	<p>【関】六年生で学習したことを、意欲的に確かめようとしている。</p> <p>【知】六年生で学習したことを理解し、試し書きを見て自分の文字の直したいところを見つけている。</p> <p>【技】自分の文字の直したいところに気をつけて、「希望の春」を書いている。</p>
			◇これまでに学習したことを生かして、一年間の思い出や感謝状などを作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを生かし、思い出絵巻物や感謝状、書写作品集、将来の夢などを丁寧に書く。</li> </ul>	34～35	<p>【関】これまで学習したことを生かそうと意欲的に書こうとしている。</p> <p>【技】これまで学習したことを生かして一年間の思い出などを書いている。</p> <p>【関】六年間の書写で学習したことを、中学生になっても書写以外の学習や日常生活に活用していこうと意識している。</p>

※「字形の整え方 (P36～37)」「六年生の漢字 (P38～40)」「読みやすく、速く書くには (後ろ見返し)」は、必要に応じて適宜扱うようにする。